

このようなときに、
誤飲事故が
起きています!



子供の手が届かなくて
保管していた場所から子供が取り出した。



子供では開けられないと思っていた
未開封の電池パッケージから取り出した。



子供の目の前で電池交換し、
ほんのちょっとの間、置いておいた。



電池を使用した製品を子供がいじったり、落したり、
壊したりして電池収納部のふたが外れた。

誤飲してしまったら…

万が一、飲み込んだ場合、また誤飲が疑われる場合でも、すぐ医師等に相談してください。

東京消防庁救急相談センター

東京都では、「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。

☎ #7119 (24 時間年中無休)

※東京都以外にお住まいの方は事前に最寄りの相談窓口を確認しておくとう安心です。

- ・エックス線検査で電池の有無を確認するまでは、子供に決して飲食させないでください。
- ・もし、子供が誤飲したのと同じ電池の包装や電池の入った機器があれば、医師が電池の種類などを確認するのに役立つので、持参するようにしてください。

事故の再発防止や製品の安全性向上のため、事故の情報や危険を感じた情報などを消費生活相談窓口や製造事業者に情報提供をお願いします。

●東京都消費生活総合センター

☎ 03-3235-1155

●消費者ホットライン ☎ 188 (いやや!)

消費者ホットラインは、全国共通の電話番号で、地方公共団体が設置している身近な消費生活相談窓口を御案内いたします。

祖父母やお子様のいるお知り合いにも、
コイン形電池・ボタン形電池の
危険性をお伝えください。



お問合せ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課
☎ 03-5388-3055

平成 27 年度
登録(27)69

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

R30
古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

コイン形電池 ボタン形電池を 子供に さわらせないで!



STOP

コイン形電池やボタン形電池の誤飲事故が
多く発生しています。
特に、コイン形電池の誤飲は、短時間で化学反応が起き
死に至るおそれがあります。

※コイン形電池とは、コイン形リチウム電池を言います。

(一社)電池工業会、(一財)家電製品協会、(一社)日本玩具協会、(一社)日本計量機器工業連合会、(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会、(公社)全国消費生活相談員協会、(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、(特非)子育てひろはる全国連絡協議会、(特非)キッズデザイン協議会、(国研)産業技術総合研究所、(独)国民生活センター、消費者庁、東京消防庁、東京都生活文化局

重症事事故事例



1歳児がライト付き耳かきからコイン形電池を取り出し、誤飲(気管と食道に孔が開き、2か月入院)。

2歳児が電池保管している容器から電池を取り出し、誤飲(内視鏡で異物摘出。食道の腐食激しく27日間入院)。



左鼻腔にボタン形電池を詰めた。少量出血していたので親が気づき、受診。

※海外では死亡事例もあります。

事事故事例イメージ映像

キッズデザインの輪
(国研)産業技術総合研究所



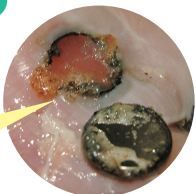
<http://kd-wa-meti.com/ButtonCell.html>

誤飲してしまうと...

被害状況再現実験

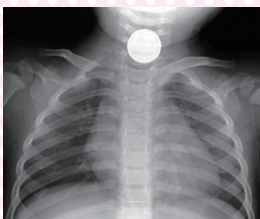
生理食塩水に漬けた鶏肉にコイン形電池を接触させた30分後の様子

電池が接触していた部分がただれてしまっている。



平成27年度東京都商品等安全対策協議会での被害状況再現実験

コイン形電池は、放電能力が高いため、非常に短時間で消化管壁に潰瘍を作ります。また、直径が大きく食道に留まる可能性が高いため、誤飲すると**死に至るおそれがあります。**



写真：消費者庁、(独)国民生活センター公表資料(平成26年6月18日)

子供を事故から守るため、すぐに始めましょう!!

※保管するとき

電池は、鍵のかかる引き出しや子供の手が届かない場所でパッケージに入れたまま保管する。

※現在、子供が開けにくいコイン形電池パッケージの改良が検討されており、平成28年度市場導入される予定です。

※電池交換するとき

子供から見えるところで電池交換をしない。また、電池交換時に短時間放置する「ちょい置き」も絶対にしない。

※商品を購入・使用するとき

電池使用製品を購入する際には、電池収納部が子供でも簡単に開けられたり、落下などの衝撃により電池が飛び出すような構造になっていないことなどを確認し、安全対策が施された商品を選択する。



おもちゃを購入する際には、STマーク適用製品など、安全に配慮されたものを選択する。また、電池が容易に取り出せるおもちゃは選択しない。電池収納部が壊れたおもちゃは、修理や買い替えるなどし、子供に触らせない。



家の中にある電池や電池を使っている製品をチェック

誤飲事故の早期発見のため、家庭にある電池や電池使用製品を確認しておきましょう。その保管場所は大丈夫ですか? 置き場所や電池収納部の状況を確認しましょう。

電池	コイン形	ボタン形	場所
買い置き	個	個	
使用済み	個	個	

※使用済み電池でも注意が必要です。使い終わった電池は速やかに廃棄しましょう(ボタン形電池は回収協力店の回収缶に、コイン形電池は各自治体で定められた方法で廃棄してください。)

子供の手が届く距離

- 1歳 = 90センチ
- 2歳 = 110センチ
- 3歳 = 120センチ
- 4歳 = 130センチ
- 5歳 = 140センチ



兄弟姉妹がいる場合は、おもちゃの対象年齢の徹底を図るとともに、兄や姉が電池を取り出さないよう、誤飲の危険性や取り扱いについて、分かりやすく伝える。



おもちゃ以外の電池使用製品は、遊び道具としないなど、子供に触らせない。



電池使用製品	場所	電池収納部
(例) 光るおもちゃ	おもちゃ箱	ねじ止め
(例) 扇風機のリモコン	棚の上	2つの独立した操作
(例) キッチンタイマー	冷蔵庫の扉	硬貨使用